

第23回高知県公立大学法人評価委員会 議事要旨

平成29年2月23日(木) 12:55~14:20

場所：高知会館 3階 弥生

出席者

評価委員：宮田速雄(委員長) 森下勝彦 寺田覚

県：尾崎私学・大学支援課長 行宗課長補佐 大窪チーフ 服部

高知県公立大学法人：村山本部長 福田部長 大野部長

(高知県立大学) 野嶋副学長 岡村事務局長 浅野次長 楠瀬部長

(高知工科大学) 磯部学長 小路事務局長 戸梶次長 上田部長

委員長

高知県公立大学法人第2期の中期目標、中期計画等に係る手続きの流れについて、事務局から説明をお願いする。

事務局

・・・説明・・・

・・・大学法人入室・・・

委員長

第2期における高知県公立大学法人の中期計画について、まず高知県立大学より説明をお願いする。

県立大

・・・高知県立大学の教育・研究・社会貢献について説明・・・

委員長

災害時において大学の役割が大きいと思うが、大学の学生の安否確認などについては、何かシステム化されているのか。

県立大

システム化しており、学生についても一斉にメールで安否確認ができるようにシステムを構築している。

A委員

研究の質の向上の項目において、競争的資金を獲得し、その成果を発信するとあるが、獲得状況を公開するということか。

県立大

高知県立大学では、科学研究費補助金において、その獲得率が全国4位の実績である。

その研究成果を発信していくということと、他大学から獲得率向上に向けての相談を受けたりもしている。

科学研究費補助金の獲得率などは、文部科学省のホームページにも公開されている。

委員長

高知大学が学費の払えない学生への奨学金として、各企業を回り寄付を募っているが、県立大学や工科大学は規模的にできないのか。税務上の問題などか。

県立大	同様の寄付をお願いすべく、現在準備をしている。
法人	個人寄付の場合は、税額の控除にあたり、寄付の件数と金額において、一定要件を満たす必要があり、両大学を合わせてもその件数、額にとどかないため、個人寄付については、税額の控除が受けられなくなっている。
委員長	本来このような学費の払えない学生への奨学金などは、国がやるべきことだと思う。
A委員	両大学とも、経済的理由で大学を辞める学生はいるのか。
県立大	辞める学生や、休学してバイトなどで学費を稼いでいる学生もいる。本学としても、授業料免除などで、そのような学生を支援できるよう、特に学部生に力を入れ行っている。
委員長	次に、高知工科大学より説明をお願いします。
工科大	・・・高知工科大学の教育・研究・社会貢献について説明・・・
A委員	AO入試がシステム工学群だけというのは、何か理由があるのか。
工科大	AO入試自体は、現在も経済・マネジメント学群で実施しており、新たにシステム工学群も加え実施することとしている。 システム工学群への導入の焦点については、特に県内で工科大学に興味を持っている学生がいれば是非面接などでやる気などを見て、優先枠として入学してもらいたいと思っている。他の学群については、まずシステム工学群で実施してみて今後検討することとしている。
委員長	今、社会人の方はどのくらい在学しているのか。
工科大	数はそれほど多くはない。(サテライト教室のある)東京、大阪、そして高知の合計で20人から30人在学している。
工科大	正確な数字をはっきりとは覚えていないが、この4月に入学する社会人学生については、修士が10人、博士が3人である。単純計算して、修士課程は2年なので20人、博士課程は3年なので9人、合計で30人程度となる。 先ほどの説明にもあったように、東京と大阪にサテライト教室を置き、どこでも学べるようにしているが、教員から直接指導を受けたいという要望もあるので、東京や大阪に直接教員を派遣し、セミナーを実施するなどの工夫をしながら進めている。

委員長	週末3日間を3週間実施するのか。
工科大	<p>文部科学省の規定で、基本的には授業で言うと15回実施して2単位と決まっており、1日を5時間に分けてそれを3回やれば2単位（1科目）になる。</p> <p>修士課程では、卒業単位が30単位であるため、授業ではそのうち5から10科目程度取得することになる。それからセミナーを受け、全体としては平日を使わなくても卒業することができる。</p>
A委員	基礎教育の強化というのは、どのようなものなのか。
工科大	<p>いくつか分けて考えないといけないが、基礎教育となっている一つは、科目としては教養科目と専門科目のなかの基礎教育。それと、いろいろな事を自分で考えて理解してそれに対して解決策を見つけていくという意味の基礎教育。それら全体を称して基礎力と言っている。</p> <p>教養はもちろん必要であるが、専門科目の中でも、今社会の変化が激しいなか、あまり細かい専門的なことを知っていても、10年、20年経つと使えなくなってしまうので、ずっと使えるような、例えば力学や化学の基礎などをきちんと教えることによって、息長く使える知識を与える。それに加え、問題の解決能力が付くようなこともやっていきたいと考え、授業を聴いてもらうだけでなく、教室外で自主的に勉強してほしいと思っている。それらを促進するために、教員の授業評価をする際には、学生に、教室外においても勉強するように課題を出したことがあるか等を問いながら、取り組んでいる。</p>
A委員	大学でも、基礎学力の低下が多いと聞いている。大学で習うようなことじゃないことまでやっていると聞くと、工科大学の状況としてはそこまではないのか。
工科大	そこまではいっていないが、高校までの課程は、高校まででしっかりと身につけて、大学に入ってくるというのが建前ではあるが、本学ということではなく、特別上位の大学以外では、ある程度高校の課程のものも、復習をしながらやらないといけないというのが平均的な大学の現状だと思う。
委員長	東京大学でもそのような話を聞いたことがある。
工科大	ゆとり教育などいろいろあるが、一方ではいいこともありつつ、他方で硬い意味での基礎学力というものが、平均値として落ちているということが否めないのではと思っている。
委員長	スマートフォンの影響もあるのかもしれないが、きちんとした文章を読

み込んでいない。だから書けない。というのが、入社試験などをやっている
るとよく分かる。きちんとした本などを読んでいないというのが明らかに
分かるような論文を書いてくる。論文も2枚書きなさいと言っても、1枚
で終わってしまう。その辺りを見ていると、基礎学力以前の問題なのかも
しれない。

工科大

本学は英語教育にも力を入れているが、日本語もきちんと書けるように
ということにも力を入れており、例えば、本を読ませて、その本を読んだ
感想、分析結果を400字や800字で書かせるような訓練もしているのが現
状である。

委員長

次に、法人より説明をお願いします。

法人

・・・第3以降について法人から説明・・・

委員長

法人統合を行ったことで、一般管理費などが下がっていくというように
理解してよろしいか。

法人

それを目標に進めていく予定。

A委員

大学間の人事交流は行っているのか。

法人

まだ数は少ないが行っている。また、法人本部においては、両大学から
人を出しているのです、そこでの交流も行われている。

A委員

最後の、環境保全に関する目標のところの数値目標はあるのか。

法人

設置する3つのキャンパスともに、エネルギー管理を行う指定を受けて
いることから、そちらで定められた数値があり、それを目標に実施してい
る。

委員長

歴史も文化も違う大学が一緒になっているので、色々大変だとは思
うが、人事交流はこれからかなり進めていくのか。

法人

現在の実績では、工科大の職員が県立大に2名行っており、今後はお互
いが行き来できるように、少しずつ増やしていきたいと考えている。
それと今は、法人本部が大学事務とは別にできたので、ここは完全に両
大学から出てきてやっているのです、そこを含めて人事交流は活発になっ
てくるのではと考えている。

B委員

6年間の予算なので、大変だとは思いますが、運営費交付金など、予算と収
支計画、資金計画の数値が異なるのは、会計処理の問題なのか。

法人 そのとおりである。予算と資金計画については、キャッシュベースで一
致しているが、収支計画については、費用ベースとなっており、減価償却
などが入ってくるので、異なってくる。

B委員 計画の中では、施設整備の老朽化などで整備が必要と書かれているが、
予算の中での施設整備費補助金は「0」となっている理由は。

法人 項目としては、施設整備費補助金という項目があるが、第1期について
もこの項目を使ったことがない。通常の運営費交付金に修繕費などは含ま
れている。また、法人全体での大規模修繕が今後必要となってくるので、
その額は含めていないが、計画については、今後県と協議を進めていく予
定である。

B委員 収支計画の中で、臨時利益が6億あがっているが、これは何か。

法人 工科大の有価証券などである。

委員長 雑益の25億は何か。

法人 学生の寮費など施設使用の収入である。

A委員 運用資産は現在どのくらいあるのか。

法人 定期預金などを含めると15億円程度である。

委員長 高知県公立大学法人に対する質疑応答は以上とする。

・・・大学法人退室・・・

委員長 高知県公立大学法人の中期計画について、意見・質問はないか。

B委員 この後大学法人側は年度計画を立てるが、先程の科学研究費など、全て
はできないだろうが、数値化できるものは数値化してもらいたい。数値化
した形で年度計画を立ててもらえると、達成度の評価について、客観性が
出て、評価しやすくなる。

事務局 大学法人に対してそのように伝える。

委員長 文章の体裁であるが、2つ大学があるため、一定仕方がないと思うが、
ア高知県立大学や（1）高知県立大学などが混在しており順番も県大、工
科大、また県大になるなど見にくいので、ゴシックにするなど、今後検討

してもらいたい。

委員長

第2期中期計画に関して、評価委員会として異存がないという意見でよいか。

他委員

異議なし

委員長

本日の会はこれで終了する。(了)